学校番号	207

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の美術 1」（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 美術は創作活動を通して自己と向き合い、新たな価値を見出す力を育みます。また多様な価値観や、ものの見方・考え方を学ぶ教科です。
- 絵画・デザインの基礎的な描写・形体・色彩の実習を行います。
- 表現形式の特性や形体・色彩などについて着目し、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。
- 完成した作品を本校開催の美書展に展示・鑑賞し、個性の違いを認め合い、ものの見方感じ方を広げましょう。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

【知識及び技能】

対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

造形的なよさや美しさ，表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表わしている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	高校美術Ⅰについて	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。 ・教科書、道具、学習内容、 評価についての理解 ・鉛筆をカッターで削る 人物クロッキー	a:美術作品のよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化ついての理解を深めている。 a:クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。 b:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に主体的に意欲を高めている。 c:主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	観察	観察	観察
	色の性質・身近にあるデザインから学ぶ	【デザイン】【鑑賞】 ・色の三要素、三属性、色相環、補色、配色について、教科書・プリント・参考資料等を使いながら学習し、色相環をアクリルガッシュで制作する。 ・デザインの理解を深めるピクトグラム・広告・ロゴマーク等の鑑賞 ・書体について学習 ・ファイルのラベル制作 ・アクリル絵の具の特性について学習 合評	a:造形の要素の働きを理解している。 a:意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。 b:目的や条件、美しさなどを考え、主題を生成している。 b:デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 b:目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 c:主体的にデザインの表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	プリント 作品	プリント 作品	制作の様子 作品 振り返りシート
2学期	色と形の平面構成	【デザイン】【鑑賞】 ・アクリルガッシュによる平面構成パネル制作をする。テーマに沿って形や色、文字を選び取り、明度・彩度・配色・構成等を工夫し表現する。 ・合評 振り返りシート記入		作品	作品	制作の様子 作品 振り返りシート

	肖像画のワイヤーワーク	【立体】【絵画】【鑑賞】 ・肖像画代表作品と作者、美術史の理解を深める。 ・ワイヤーの特性と表現方法 ・ 一筆書きの魅力について ・ 合評 鑑賞シート記入	a:造形要素の働きを理解している。 a:意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。 a:一筆描きの表現方法を創意工夫して、主題を追及して創造的に表現している。 b:ワイヤーの特性を生かし形体形成について考え、肖像画の魅力を表現するための構想を練っている。 b:造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 c:対象の魅力を主体的に探ろうとする視点を持っている。 c:主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	作品	作品	制作の様子 作品 鑑賞シート
3学期	油彩・静物画	【絵画・油彩】【鑑賞】 ・油彩導入:教科書などの教材から油彩の特性について理解を深める。 ・油彩表現の練習 ・デッサン:基礎的な立体の描き方を学び、構図を練る。 ・自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 ・他者の作品から、作者の意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解する。 ・合評 振り返りシート記入	a:造形要素の働きを理解している。 a:造形要素の特徴などを基に、全体のイメージや作風・様式などで捉えることを理解している。 a:意図に応じて油彩の材料や特性を生かしている。 a:表現方法を創意工夫して、主題を追及して創造的に表している。 b:表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 b:造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 c:主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	作品	作品	制作の様子 作品 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度